

あなたとFUJIを、見つめる
2008 SEPTEMBER

Face to Face

[フェイストゥフェイス]

船村さん
ティンパニーの音色が聞こえます

富士フィルハーモニー管弦楽団

船村 雅彦

MASAHIKO FUNAMURA

お気に入り SHOP
素敵なお店がありますよ

GOURMET
美味しいものは好きですか？
Fuji で見つけるグルメです

ケーキ店 ファミーユ ドゥ フルーリス
フルーリスに家族が出来ました

Book information
楽しい本 揃えました

Smile3 ラブラドル・レトリバー
井出 Marine ちゃん

Happy present
シネプレーゴ映画鑑賞券



代表
船村 雅彦

1985年(昭和60年)「富士市にオーケストラを」との思いをひとつにする音楽愛好者達が集まり、「富士フィルハーモニー管弦楽団」は創設された。

富士フィルハーモニー管弦楽団

市内唯一の市民オーケストラ



年齢、性別、職業、様々な肩書を持つ人が集まっているがそんなことは関係ない。純粋に皆で一つの音楽を作っている。



Information

2009年演奏会 ファミリーコンサート

2月22日(日) 14時 開演
ロゼシアター 大ホール
となりのトトロ・ボレロ・モルダウ他
11月よりロゼチケットセンター他、にて販売開始
大人1,500円 学生500円(予定)

団員募集中

一緒に演奏できる仲間を募集しています
特に弦楽器の演奏ができる方
気軽にご連絡ください
詳しくはHPまで <http://www2.wbs.ne.jp/~fujiphil/>

B'z

デビュー20周年記念写真集
「B'z8808」



駆け抜ける20年 2人の音楽の形

疾走するふたりが、そこにいます。

日本最強のロックミュージシャンB'zのデビュー20周年を記念する写真集『B'z8808』を緊急出版。1988年にデビューした松本孝弘、稲葉浩志。2人の、2008年までの20年が400ページに詰まっています。写真の総数は326点。そのうち撮り下ろしは32ページ。写真家は久留幸子。都内某所で2日間にわたった撮影で2人が見せた「新しいB'z」の姿は、ファンならずとも目を見張るものになっています。アートディレクターは、数々の写真集を手がけ2008年度ADCグランプリを受賞した井上嗣也。ファンならどこかで見たことのある写真も、全く違う輝きを放っています。

著者 B'z TAK MATSUMOTO KOSHI INABA
発売 9月19日(金) 本体4,900円+税
体裁 B5版変型・上製かがり400ページ

ご注文は星野新聞堂まで

☎0120-110376

平日6:00~20:00 日・祝日6:30~11:00

ご自宅まで星野新聞堂スタッフがお届け致します。
代金は引換えか、新聞代と一緒にの支払になります。

「自然が生み出す芸術、持ちが一つになり作り出すハーモニーがオーケストラです。何か凄い！面白いです。解らなくても何かを感じてもらいたいです。」

「日本には四季があります。古来より日本人は潜在的に自然を神とあがめ、自然を愛し、自然を感じる美しい心を持っています。富士市は南に日本一深い駿河湾、北には霊峰富士があり、本当に自然が豊かな場所。この富士市で活動するアイデntyテイイーをしっかりと持ち、オーケストラをやっていききたいのです。」

「オーケストラは元々、西洋からきたものです。どうしても、難しいイメージがあり、確かにある程度の知識や技術も身につける努力は必要です。音楽の中でも楽器の演奏者にとっては最高峰のもの。まったく知らないよりは、知っているほうが数倍面白いのです。しかし本来の音楽とはそういった知識や技術だけではないと思います。オーケストラは西洋音楽の最高峰なので、難しすぎて解らない。よくそう言われますが、芸術を感じる繊細な心が日本人にはあるはず。ピアノシモで奏でられる小さな音色から一気に大音量になる展開。幅広い音域から生まれる壮大な空間。80人の気

「取材にお邪魔したロゼシアターには子供から大人まで多くの人たちで溢れていた。二月のファミリーコンサートに向けての練習も、皆とても楽しんで演奏している。子供から大人までが楽しめるオーケストラ。富士フィルハーモニー管弦楽団からは、そんな雰囲気を感じられた。」

クローズアップ フジ

CLOSE-UP Fuji



長谷川 千紗

コンサートミストレス

クラシックを身近に感じてほしい

長谷川さんの出身は岐阜県。その後、大学で北海道に行き就職で富士市にきた。家の近くにあるイタリアンレストラン『イルポンテ』がお気に入り。富士市に住み、海が近く、大きなタンカーを見たときには驚いたそう。

「どこの地域に行っても音楽があれば、すぐに交流が持てるじゃないですか。クラシックって敷居が高いイメージがあって興味を持ちにくいと思うけど、もっと身近に感じてもらって楽しんでほしいです。」

次回行われる2月のコンサートでは『となりのトトロ』を始め有名な楽曲を多数、演奏する予定。練習を拝見させていただいたが、聴いていて心地よく、時には面白く、イメージしていたクラシックとはまったく違い、非常に楽しめる演奏だった。

「富士フィルは小林研一郎さんの指導を受けたり本当に凄いオーケストラです。入ったときはこんなに恵まれた市民オーケストラはないと驚きました。ぜひ機会がありましたら、皆さん演奏を聴きに来て下さい。」



高 直樹

コンサートマスター

生の音を体感してみてください

小学校2年生のときからバイオリンを弾いてきた。大学時代は学業をせずに、バイオリンに熱中していたという。友人と、弦楽四重奏団（バイオリン2人・ビオラ1人・チェロ1人）を結成し、自主コンサートなどの活動をしてきたそうだ。「父親の仕事の関係で、引越しが多かった。でもバイオリンのおかげで、友人はすぐに来ました。全国大会でいろんな土地に行ったり、青春は全てバイオリンだった気がします。」笑顔で話す高さんからは、本当にバイオリンが好きなんだと実感する。「大人はどうしても、クラシックは難しい。解らないと、ポピュラーな音楽と区別してしまいます。ですが子供はそういった感覚がありませんよね。ホールで聞く生のオーケストラは、CDで聴く音楽とまったく違います。ぜひオーケストラという音楽を生で体感してみてください。きっと楽しんでいただけたと思いますよ。」

バイオリンの音色は、本当に綺麗な音。なぜか心に響くものがある。高さんの奏でるバイオリンの音色は、やさしく、とても心地いい音だった。